



# 特定非営利活動法人 女性技術士の会

## ニュースレターvol.13

本ニュースレターは、特定非営利活動法人女性技術士の会会員のみなさまへ、本会の活動内容を中心にお知らせいたします。

第13号では、2012年8月～10月の活動内容、会員からの発信、リレーエッセイ、部会報告、今後の活動予定などをお届けします。

CONTENTS		
<b>新旧理事長の挨拶</b>		1 ページ
木村了さん	新任の挨拶	2 ページ
岩熊まきさん	退任の挨拶	2 ページ
<b>活動内容</b>		2 ページ
2012/08/10	女子中高生夏の学校 2012-科学・技術者のたまごたちへ-	2 ページ
2012/09/15	第15回技術サロン (WPETF 活動への協力)	3 ページ
2012/10/17	第6回日韓女性技術士交流会 (速報)	3 ページ
<b>会員からの発信</b>		3 ページ
甲斐佳子さん	現場からはじめるダイバーシティマネジメント	3 ページ
<b>リレーエッセイ</b>		4 ページ
藤井由美さん	自己紹介	4 ページ
<b>技術サロン参加学生からの感想</b>		6 ページ
平澤英里さん	技術サロンでの意見交換会	6 ページ
<b>運営報告</b>		7 ページ
<b>今後の活動予定</b>		7 ページ
2012/11/10～11	おもしろいまちづくり 第5弾 一目指せエコ達人-(参加型)	7 ページ
2012/12/15	第16回技術サロン (WPETF 活動への協力)	7 ページ
2013/01/26	平成24年度技術士第1次試験合格者・JABEE 修了見込者ガイダンス	7 ページ
<b>技術士をめざして</b>		7 ページ
高橋 夏実さん	技術士を目指して、自分自身も成長を	7 ページ

### 新旧理事長の挨拶

木村 了さん 「新任の挨拶」

この度、岩熊前理事長が退任され、その後を引き継ぐことになりました木村了でございます。

これまで力強く我々を牽引してくださった岩熊前理事長の後を引き継ぐことは、些かの不安を覚えておりますが、岩熊前理事長ならびに今回同時に退任される氷上初代理事長、酒井副理事長の「新しい世代に当会を牽引して欲しい」との強い御意向を重く受け止め、私なりに努力していく所存で御座います。

今回の御三方の退任に伴い、理事会には犬走朱見、藤井由美、両氏が新理事に加わり、現理事の石田佳子、角田ひで子、木村了の5人体制で運営していくこととなります。退任された理事は当会創設当時からの大先輩でその実力も功績も大なるものがあり、我々はただ先輩に付いて行けばよいとの感覚で活動をしてまいりました。

今回の大幅な新旧交代はそのような後輩に対して先輩から言い渡された「巣立ち」と考えております。

これからは「自分達が牽引する」という自覚と共に、前理事達が拘った「若い世代」という言葉の意味を活動に反映すべく、新しい会のあり方を模索して行こうと思っております。

活動の方向性はこれまでの「社会貢献」という基本的理念は変わりませんが、加えて多種にわたる技術のプロ集団としての活動、会員間の専門技術のネットワーク化、相互扶助等に力を入れ、会の活性化を図ろうと考えております。

当会の技術者を縦系に例えれば、如何に素晴らしい縦系であってもそれだけではなかなか社会に役立てることは難しく、横系を巡らす事で初めて美しい布として使えるようになると考えております。NPO という組織も、縦割りの社会を横系でつなぐ役割を持っていることはご承知の通りです。また、これらの組織活動は個人の奉仕だけでは支えられないとも考えております。

忙しい時間を割いて活動に参加くださる方の喜び・・・それは仲間を作る喜びや、技術向上の喜び、知的好奇心の満足、社会貢献の満足、活動の後の仲間とのレクリエーション・・・等々、会への参加が生活の潤いや豊かな気持ちを創る場にしてゆきたいと考えております。そんな理想に対する課題は山ほどありますので、とても私一人の力では実現は難しく、皆様の御協力を得て初めて具現化させられると思っております。

なにとぞ今後とも5人の若い(?)理事へ皆様の御協力をお願い申し上げます。

最後となりましたが、重責を担ってこられた前役員皆様のご尽力に厚く御礼申し上げご挨拶と致します。

#### ■ 岩熊 まきさん 「退任の挨拶」

私は、平成 24(2012)年 9 月 30 日を持ちまして理事長並びに理事を退任いたしました。平成 21(2009)年 6 月の理事長就任以来 3 年 4 ヶ月、皆様には様々なご支援をいただきましてありがとうございました。厚くお礼申し上げます。併せて、世代交代、若返りを図るため、私を含めてシニア世代の理事 3 人が退任いたします。3 名とも 1993 年の発足以来、主体的に活動に関わり長い間幹事や理事を務めてまいりました。これからは顧問として、一歩後ろに引いたところで、この会を見つめ、アドバイスなどを行なってまいります。皆様には、引き続き新理事長並びに新理事会への暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 活動内容 (2012/8~2012/10)

### ■ 女子中高生夏の学校 2012-科学・技術者のたまごたちへ-

◆ 日 時：2012 年 8 月 10 日 (金)

◆ 場 所：独立行政法人国立女性教育会館

◆ 活動形態：自由参加

◆ 主 催：独立行政法人国立女性教育会館、日本学術会議

◆ 参加者：井本、岩熊、角田、木村了、笹尾、氷上、宮地、千木良、女子中高生 100 名、教職員・保護者 50 名

◆ 内 容：女子中高生が科学技術の世界の楽しさを「体験する」、そこで生き生きと活躍する女



性たちと「交流する」、科学技術に関心のある仲間や先輩と「知り合う」ための機会として開催されているイベントに例年通り、参加した。展示の 1 コマを利用して、(1)ポスター展示、(2)資料配布、(3)NPO 会員による個別の相談などを行った。

#### ■ 第 15 回技術サロン（WPETF 活動への協力）

◆ 日 時：2012 年 9 月 15 日（土）13：30～16：00

◆ 場 所：（公社）日本技術士会荻手第 2 ビル 5 階

◆ 活動形態：協力

◆ 主 催：（公社）日本技術士会 男女共同参画推進委員会

◆ 参加者：委員会 石田、岩熊、角田、小林、笹尾、中野、廣瀬 WPETF 増永 NPO 佐野 ※アンダーライン付記は NPO 会員、

一般参加者 7 名（女子学生 2 名、社会人 5 名）

◆ 経 緯：女性技術者のキャリア形成支援事業の一環として、2008 年 11 月に初回を実施し、同企画で第 15 回目。第 11 回目から、男女共同参画推進委員会主催で実施、NPO はこれに協力している。

◆ 目 的：技術者、技術士を目指す女子学生、女性にとって、技術者としてのキャリア形成や技術士取得の一助となるよう、技術士と意見交換する場を提供すること。なお、NPO 法人賛助会員の支援により、NPO の災害支援事業の一環として、福島県的女子学生 1 名を招待した。

◆ 概 要：はじめに技術士及び技術士制度、試験について概要を説明した。次にアイスブレイクにより参加者全員で打ち解けた後、あらかじめ参加者に悩みや質問を用紙に書いてもらい、それを基に意見交換を行った。具体的な悩みに対して参加者からも経験談が述べられ、話題を共有することができた。なお、前回まで参加者側であった若手技術者 2 名が今回からホスト側に加わった。今後もともに活動してくれる若手技術者が増えることを期待したい。

#### ■ 第 6 回日韓女性技術士交流会（速報）

◆ 日 時：2012 年 10 月 17 日（水）15:00～18:00

◆ 場 所：名古屋キャッスルプラザホテル

◆ 主 催：NPO 法人女性技術士の会

◆ 参加者：木村了、岩熊、氷上、石田、中西、笹尾、廣瀬、千木良、磯打、平永、山本美子、川上紀子、萩原、藤井由美、鈴木千賀、韓国側 6 名

◆ 内 容：シンポジウム、文化交流（ミニお茶会）、食事会

シンポジウムテーマ「技術士の立場から多様なエネルギー戦略を考える」

「日本のエネルギー供給と再生可能エネルギー導入時の課題」川上紀子

「Energy Trend of the world」申浩傳



## 会員からの発信

#### ■ 甲斐佳子さん（環境部門）「現場からはじめるダイバーシティマネジメント」

はじめまして甲斐と申します。土木系コンサルタントの環境部で水質、生物等の調査・検討業務をしています。女性技術士の会のニュースレターの記事ということで、何を書こうか迷ったのですが、今回は、私が初めて責任者になった現場で起こった出来事のお話をしたいと思います。

それはある河川敷で行われた実験現場のことでした。



日向ぼっこしながら寛ぐシニア世代の男性が三人。片手で携帯をいじり続ける男性が一人、新聞を眺める男性が一人。ぼんやり川を眺める年配の男性一人。おしゃべりに興じる若い女性二人。彼らを前にして呆然と立つ私。

これが、この時の現場の『チームのメンバー』でした。年齢、性別、雇用状態（社員・中途採用・新卒・シニア・契約社員・パート）、結婚・未婚、子供の有無……。これ以上ないくらい見事にばらばらでした。このメンバーを適材適所に割り振って、上手く仕事を回すにはどうしたらいいんだ……と頭を抱えました。

恥ずかしながら、それまでの私は、『ダイバーシティ・マネジメント』という言葉聞いたことはあっても、『多様な人材を使ってうまく仕事をやっていくって、どうやってやるんだろう？』という想像力を働かせることがほとんどなかったのです。

現場が始まってしばらくは、上手くいかないことばかりでした。

まず、前提条件が違いすぎて情報伝達がうまくいかない。仕事の手順の説明一つとっても、一人一人の知識や経験が違うので、全員を集めて一回説明して終わりという訳にはいきません。

次に、仕事をすすめる速度(能力・体力共に)も、みんながみんなばらばらです。一番遅い人に合わせては、他の人がいらいらする上に、時間に間に合いませんし、一番早い人に合わせては、他がついて行けなくて混乱し、結局効率が悪い。

最後に、色々な人が入り乱れているだけに、リスクを想定するのが難しい。思いがけないトラブルが発生することがあります。

こういった課題にどう対応しようかと考えた末に、私が実行していることは、

- ・ 一人一人と密に連絡を取り、説明をし、相手の話を聞く。仕事にかかる前に全員の認識を統一しておく。
- ・ 仕事を進める速度は柔軟に変える。安全第一、無理はしない。ゆとりを持って望む。
- ・ 事前にリスクの洗い出しをし、また、それぞれの人から想定されるリスクを考え、できるだけ効率的に仕事ができるよう計画を練る。

ということでした。

なんだかすごく当たり前のことのようにですが、これが手間も時間もかかり意外と大変です。ですが、これを面倒くさがっていると上手く回りません。

逆にうまく回り始めると、色々な意見や考えが出てきて実に面白く、良い仕事ができるように思います。ダイバーシティの醍醐味ってこういうものなのかなと思うこともあります。まだまだ試行錯誤の段階ですが……。

これからの日本は少子高齢化や人口減少が進み、企業が推進するダイバーシティ・マネジメントとあいまって、私たちの職場はより多種多様な人々が働く環境になっていくと思います。

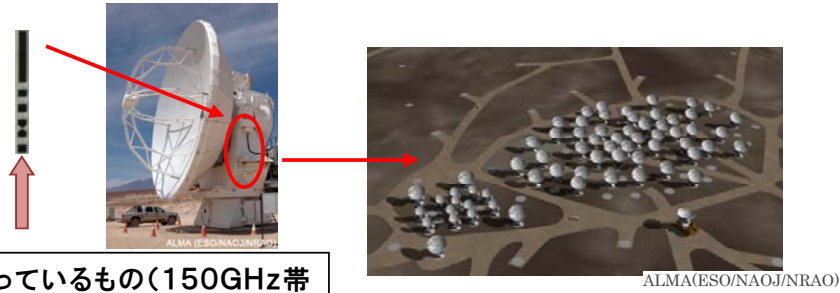
私たち女性技術者は、女性の雇用機会や役職登用の推進について働きかけていくと同時に、企業が進める『多様性のある職場環境』の中で、より良い仕事ができるよう『女性』という特徴を生かしながら工夫していく必要があるのではないのでしょうか。

## リレーエッセイ

■ 藤井由美さん（応用理学部門） 「自己紹介」

今年度から理事 企画部担当 をさせていただくことになりました。藤井由美です。東京都調布市在住 国立天文台で働いています。仕事の内容はチリに建設中の電波望遠鏡の中に組み込む電波センサーの作成です。





私の作っているもの(150GHz帯用)  
 サイズは1×5×0.2 mm  
 アンテナの○のところに入ります

チリのアタカマ砂漠に建設中の ALMA 電波望遠鏡 可動式アンテナを 66 台で構成されて、最大 18.5kmにまで広げられます

生まれは福岡県北九州市です。学校は小学校から一貫教育の私立に行きました。小学校は共学でしたが、中学は別学、高校は女子だけの学校でした。高校になって男子がいなくなって解放感を感じたのを覚えています。九州は男性を立てて女性は後ろでという気質がありますので、男子がいなくなり、生徒会などの運営を自分たちに任されて自覚ができて元気で明るくなったのです。運動会も生徒会主導で高等学校だけ独立して開催するようになり、イベントを主催側とする楽しさを感じました。

でも私自身は、成績は真ん中ぐらい 理科大好き、数学まあ好き、社会、国語は んー、英語…ごめんなさいという感じで目立たない、不思議ちゃんに近い女の子だったと思います。

大学は地元の国立工科大学に行きました。で、ここは一変して男性ばかりの環境でした。学科にも依りましたが、私の入った電子工学科は上3年、下3年女性はいませんでした。クラスメイトはみんなおじさんに見えて怖かったです。ただ、私自身は比較されるものがなくて自由にできました。クラブは合唱に入りました。メンバーは男性しかいなかったのに引っ張り込まれて、男性裏声を使う特殊な宗教曲や他大学と合同の演奏に参加しました。

就職は男女雇用機会均等法 改正の年でした。就職担当の教授に「理系女性は地元で正規社員の採用は無いから関東に出なさい」と言われ、東芝に決めました。東芝は男女差別なく採用していましたので、全国から理系女性が集まっていました。初めの1年はそんな人たちの集まる女子寮で過ごし、たくさんの友人ができました。

独身時代は市民混声合唱団に入っていました。毎年、コンサートを主催し、コンクールに出場するとともに活動盛んなグループで、毎週土曜、日曜も半分くらい皆で集まって練習していました。コンサートを作り上げるのも、コンクールを頑張るのも楽しくて、パートナーともここで出会いました。

東芝には13年いました。結婚直後に私とパートナーそれぞれに転勤があり、自分の人生で何を選ぶか良く考えて会社を辞めました14年前の話です。

その後は子育て、仕事、自己研鑽の3本立てで過ごしています。そろそろ趣味の合唱も復活させたいのですが、まだ時間的な余裕はまだありません。

数年前ポートフォリオで“現在、ワーキングキャリア第△ステージ”と書かせていただきましたが人生ってなんだかしばらく平坦なところを過ぎると変換期があって、次の舞台に変わるような気がします。そして私は今、その変換期にいます。子育ては、子供が中学生になってほとんど手がかからなくなりました。また今年度から会の理事をさせていただきます。仕事の方でも大きな動きがありそうです。

自分の次のステージはどんなふうになりたいのか、ここが頑張りところだと思います。まず自分のために、それが女性技術士の会全体に良い影響があるようにと願い、頑張ります。

よろしく願います。

## 技術サロン参加学生からの感想

■ 平澤 英里さん（福島工業高等専門学校専攻科） 「技術サロンでの意見交換会」

私が技術士について知ったのは、ほんの数か月前のことでした。その後すぐ、先生から技術サロンへのお誘いを頂き、今回のサロンに参加することができました。

技術サロン前日、幸運にも学校で技術士の説明会がありました。技術士がどのようなものなのか、ある程度の知識を得てから参加できたことにより、当日の交流会をより有意義に過ごせたように感じます。

当日は参加者同士の交流を深めるためのゲームを行ったりと、私が予想していたものに比べ和やかなものでした。特に、自分の相談と悩みをメモに書き、それについて意見やアイデアを頂けたのは大きな収穫でした。

私からの質問と悩みは「普段の勉強時間と研究時間はどの程度か?」、「所属の性質上、どうしても世界が狭まってしまう」の2つでした。始めの質問をした理由は、先生方から高専はぬるい、君たちは勉強しなさすぎる、世の大学生はこんなものではないとよくお叱りを受けるからです。そこで他の参加者の方からお話を伺ったのですが、他の方の実施時間はどれも私が実際に行っている時間よりもはるかに長いもので、自分の研究不足を痛感しました。交通機関などの理由もあり、今すぐ他の方のように遅い時間まで研究をすることは無理でしょう。しかし今以上に研究の時間をとるよう努力することを決意しました。

次の悩みでは、このサロンへの参加が世界を広げる第一歩になるのでは?とだけ言っていました。また、これから社会に出ていけば自ずと世界が広がるし、自分の努力次第で学生のうちでも世界を広げることができる、とアドバイスを頂きました。

他の方の質問や悩みも共感できるものが多かったです。印象に残ったのは30歳の自分に対してどのようなビジョンを持っているかという質問です。これを聞いたとき、かつて先生にも同じことを聞かれ、答えられなかったことを思い出しました。多くの方の解答は「学生時代はあまり考えていなかった。会社に入ってから考え出した。」というものでした。他の方のアドバイスを参考に私の30歳についても一度考えてみたところ、海外という言葉が頭に浮かびました。あまり明確なビジョンではありませんが、30歳までに一度海外に行き、仕事をしてみたいです。

また、男の人の中でどのような振る舞いをすればいいのかという質問もありました。これは理系、特に工業系に所属する女性なら一度は悩むことなのではないでしょうか。このとき聞いた、その集団の中で自分がどうあるべきかを考えて行動すればよい、というアドバイスが印象に残っています。これは質問のような状況に限らず、集団の中で生きていく上で大変重要なことだと感じました。私自身、同じような悩みを持ち、今現在少しだけ新しい環境でどのようにふるまうべきか悩んでいました。しかしこの言葉が私に解決の糸口を与えてくれたように感じます。

ハウレンソウのコツや、後輩への指導の仕方なども参考になりました。社会に出て、実際に教える立場にある方々からのアドバイスだったため、どれも説得力がありました。質問をする場合は自分である程度考え、答えをきちんと持つこと。報告をする場合は、結論を簡潔に伝えること。特に後者は今までほぼできてなかったように思うので、今日から心がけるようにします。

今回の技術サロンで感じたことは、何においてもすべては自分次第ということです。それこそ「自分がどうあるべきか」。どんな自分になりたいか、そのためにはどのように努力すべきか?それらの点を明確に捉え、行動に移すことが大切だと実感しました。また、多くの方と交流を持つことにより、それらを実行するモチベーションを保つこともできると感じました。

## 運営報告

主体	日時	議題
理事会	2012/09/01 10:00~13:00	執行体制、日韓女性技術士交流会、サイエンスアゴラ、ホームページ、外部資金調達、ニュースレター 理事の交代に関して
	2012/10/01 19:00~21:00	
企画部会	2012/09/18 19:00~22:00	おもしろいまちづくり第5弾（サイエンスアゴラ 11/10,11）の準備、女性技術士の会の名刺デザイン案
	2012/10/14 13:00~16:00	
広報部会	2012/10/12 19:00~21:00	理事会協議内容の伝達、サイエンスアゴラ、ニュースレター（vol.13、vol.14）、助成事業情報収集体制
総務部会	日常的な運営	会計および入退会、メールアドレス等変更に関する事務
国際部会	2012/7/14（INWES-J運営委員会）	今後の活動計画
	8月アジアフォーラム参加（マレーシア）	アジア圏内の女性技術者の活動について
	10月 ICWES regional meeting 参加（インド）	
	10月24日 日都河会長受賞祝賀会&女性技術士の会・JWEF親睦会	定例会議（次回 ICWES 会議の内容検討等）

## 今後の活動予定

### ■ おもしろいまちづくり 第5弾 「目指せエコ達人」（参加型）

◆ 日時：2012年11月10日（土）11日（日）10:00~17:00

◆ 場所：お台場 サイエンスアゴラ会場<日本科学未来館館内またはその周辺>

◆ 企画タイトル：親子で参加「おもしろいまちづくりエコゲーム」&エコな暮らし

◆ 開催主体：NPO 法人女性技術士の会 INWES-J 共催

◆ 内容：サイエンスアゴラ会場で「エコな暮らし」をテーマに体験型展示を行います。



来場者とエコライフ双六ゲームをしたり、自転車搭載型浄水装置を使った水質実験、エコな住まいの展示を考えています。普段の活動には参加できない会員の方、お顔を見せてください。家族一緒、子供連れ大歓迎です。

連絡お待ちしております

◆ 連絡先：藤井由美 info@pej-lady.org

**当日スタッフ大募集中！！**

### ■ 第16回技術サロン（WPETF活動への協力）

◆ 日時：2012年12月15日（土）13:30~16:00

◆ 場所：（公社）日本技術士会荻手第2ビル5階CD会議室

◆ 対象：技術者及び技術士を目指す女子学生・女性

### ■ 平成24年度技術士第1次試験合格者・JABEE修了見込者ガイダンス（WPETF活動への協力）

◆ 日時：2013年1月26日（土）13:00~17:35（ポスター展示 11:00~13:00）

◆ 場所：コクヨホール

◆ 内容：平成24年度技術士第1次試験合格者及びJABEE修了見込者を対象としたガイダンスであり、技術士関連団体のポスター展示において技術サロンを主とした展示を行う。

## 技術士をめざして

■ 高橋 夏実さん（鳥取大学大学院農学研究科）「技術士を目指して、自分自身も成長を」

はじめまして、この度『技術士をめざして』に原稿を書かせていただきます、高橋夏実と申します。今回はこのような機会を頂きましたので私の自己紹介や技術士を目指すきっかけなどを書かせていただこうと思っております。よろしく申し上げます。



### ■自己紹介と技術士を目指すきっかけ

私が技術士を目指すきっかけは、『人のために何かをしたい』という気持ちからでした。私は小学校低学年のとき、阪神大震災を経験したことで、周りの人からの支援の有難さを感じ、将来は自分も人のために何かしたいと思うようになりました。そのためには、何かに特化した人、つまり技術者として活躍したいという気持ちになりました。そういう気持ちを持ち続けている中、技術士の資格があることを知りました。このきっかけは、大学で専攻課程が JABEE 課程に認定されていたことでした。私は大学で農業土木を専攻しています。同じ専攻課程を卒業された先輩の中には、技術者として第一線で活躍している方もいます。その人たちの話を聞いている中で、自分も技術者として仕事がしたいという気持ちが大きくなりました。また、先輩方や先生から技術者としてやっていくには技術士の資格は持つべきだという話を聞きました。それから、どうすれば取得できるのかとと思っているときに、先生からの紹介で女性技術士の会のサロンを知りました。

### ■技術サロンに参加して

技術サロンの参加は私にとって刺激的なものでした。初め、私は大学卒業後、社会人として女性技術士を目指すことに対して不安があったため、同じ立場にある方たちがどんなことに悩み、どのように解決しているのか、また自分と違う専門で活躍されている方に会ってみたいという思いで参加しました。参加されている方の多くは、すでに第一線で活躍している方たちで、目標に向かって一歩一歩進んでおり、また、自分の意志がしっかり備わっている方々ばかりなので、見習わなくてはならない、まだまだ自分は甘い！と感じました。特に、仕事をしながらの資格取得に対する意欲、また、時間の使い方や勉強方法に関しては来年度から社会人になる私にとっては身になることが多くありました。またそれだけでなく、様々な仕事や立場の方に出会えたことで、人との出会いや関係を維持していくことの大切さを身に染みて感じ、これからの自分の世界を広げていくためにもこのスキルを伸ばしていこうと思いました。

### ■これから目指す技術士

私は、人との出会いは自分を成長させる糧だと思っています。様々な出会いを生み出すには積極的に自分から歩み寄ることが必要だと感じています。今回参加させて頂いた女性技術士の会では、自分の想いを貫いている方と出会えたことを嬉しく思っています。そして、自分の気持ちや目標などと向き合い、一歩一歩確実に進んでいくことの大切さを改めて感じることができました。また、『まだまだ自分自身は成長できる。頑張れ！』という自分に対する励ましにもなりました。多くの出会いを経験し、そこから様々なことを学ぶことで一人の技術士として誇れる女性になりたいと考えております。

この度は、長々と書かせて頂き、ありがとうございました。これからお会いした際には、みなさま、どうぞよろしくお願い致します。

ニュースレターについてのご意見・ご感想はこちらまで：[info@pej-lady.org](mailto:info@pej-lady.org)

2012年第4号 通巻第13号 発行責任者：特定非営利活動法人 女性技術士の会 理事長 木村了